

環境政策技術マネジメントコース

Graduate Course in **Strategic Environmental Management and Sustainable Technology Solutions**

教授 吉岡 敏明
Professor
Toshiaki Yoshioka



We have made a clear figure of the styles of living pregnant in mind even under the severe situation of the global environment and have driven for a creation of the nature technology in order to guide technology necessary for it.

The styles of living pregnant in mind were clarified to be composed of convenience, pleasure, nature, self-development and communication with society; also we could demonstrate some possibilities of technique to extract technology from the styles of living drew by the back casting method.

In addition, we are always developing frontier area in advance about environmental leadership, solution creation, social innovation and future sustainable society, inviting new lecturer, being held seminar/ workshop with business person and policy makers from Asia and Europe etc. Our new idea, 90 year old hearing method is spreading to the world now.

コース概要

本コースは、環境政策・施策の立案並びに戦略構築を行うスキルを持ち、鳥瞰的な視野で指導的な役割を果たす「即実践型環境マネジメント人材の養成を目的とした修士前期2年課程コースである。特にバックキャスト思考の重要性に関して、カリキュラム強化を行っており、より質の高いOJT・PSSへの取り組みを行っている。H25年度は9期生8名の新規入学者があり、6.7.8期生と合わせて社会人19名、学部学生2名が在籍中である。

カリキュラム・スクーリング

今年は教材映像として木内孝氏及び Patrick D.Cowden 氏の撮影を実施し、講義内容の更新のため阿部博人氏、大和田順子氏の再録を実施した。また、新規講師3名の撮影を進めており、来年度は「サステナブル社会システム論」のカリキュラムにおいて、建築、都市開発、ソーシャルイノベーションを盛り込み先端分野の刷新を実施する。スクーリングでは、e-ラーニング「環境文明論」で公開している安田喜憲教授と石田秀輝教授の対談を再現するという試みで公開討論形式の講義を実施し好評であった。また、Patrick D.Cowden 氏を迎えてワークショップも開催し、SEMSaTの学生以外の参加者を交えて活発なディスカッションが行われた。毎回スクーリングでは講師との懇親会を催しており、現役の8.9期生のスクーリ



SEMSaT Schooling

ング日が重なった合同スクーリングでは、SEMSaTの先輩後輩としてOJT課題やPSSに向けての対策の情報交換などしつつ、後日、調査活動に同行するなどの研究交流も深まっている。



Workshop with Mr. Patrick D. Cowden

広報活動

●SEMSaTショートコース(2回/年)

今年度は7月と12月に東北大学東京分室で開催した。SEMSaTカリキュラムの一部を実際に体験してもらうことを目的にしており「もっと本格的に学びたい」「気づき、刺激を受けた」「仕事に役立てたい」という参加者の声が多数寄せられた。また、講義後のワークショップが好評で、講義内容に合わせた課題を参加者は普段の業務内容や立場の違う初対面同士ながら活気に満ちたディスカッションの場となっていた。

●SEMSaTセミナー(2回/年)

開催は今年で15回を数えるが、毎回定員を上回る参加状況である。今年度は1月と7月に東京で開催した。1月は(株)インクルーシブデザイン・ソリューションズの代表取締役社長・井坂智博氏をゲストに迎えて「観察から未来を見通すメガネ」というテーマで、社会的弱者とのワークショップから得たアイデアを「ものづくり」や「組織デザイン」に活用する取り組みについての紹介と議論を行った。7月は環境省の中井徳太郎氏がゲストで「低炭素・循環・自然共生を同時に実現する環境・生命文明社会の創造に向け



教授 石田 秀輝
Professor
Emile. H. Ishida



教授 谷口 尚司
Professor
Shoji Taniguchi



教授 葛西 栄輝
Professor
Eiki Kasai



教授 藤崎 成昭
Professor
Shigeaki Fujisaki



教授 安田 喜憲
Professor
Yoshinori Yasuda



教授 田中 泰光
Professor
Yasumitsu Tanaka



准教授 古川 柳蔵
Associate Professor
Ryuzo Furukawa



准教授 馬奈木 俊介
Associate Professor
Shunsuke Managi



助手 岡田 宏一
Research Associate
Koichi Okada



アシスタント 金野 徳子
Assistant
Noriko Konno

て」というテーマに環境省の進める生命文明社会創成の取り組みと実現のために乗り越える壁について議論した。次回の予定は産学連携推進機構・理事長の妹尾堅一郎氏を迎え「あたらしい産業のかたち」をテーマに開催する。毎回、セミナーの後半にある多種多様なゲストと石田教授との公開討論は好評価を得ており、SEMSaTにおける考え方や認識を広め、新たな視点を取り入れることに役立てている。



SEMSaT short course



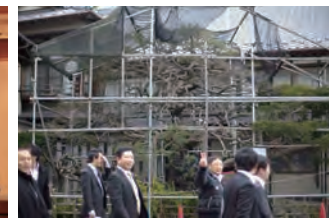
SEMSaT seminar

DESIS Japan会議の開催

DESIS (DEsign for Social Innovation towards Sustainability) は世界規模でサステナブルな社会を作るための社会改革を目的に「デザイン」が持つ重要な役割を認識し組織された世界的なネットワークである。第3回 DESIS Japan 会議が松島で開催され、ソーシャルデザイン、サステナブルデザインといった領域に関心の高い方々の参加が多数あった。石田秀輝教授の基調講演、Miaosen Gong 氏には DESIS の今後の展望について講演を頂き、2つの分科会(1. 90歳ヒアリング、2. レジリエントな(resilient=しなやかで復元力のある)社会)で議論を行い、地元で活躍する2団体からのプレゼンでは「海の盆」(宮城県松島市)から「地元の独自性を創出するために30年振りに地域祭りを復活させた取り組み」、「馬人」(岩手県遠野市)から「馬がもたらす持続可能な社会に必要な機能とそれを活かす取り組み」について発表があった。そして、SEMSaTで発案された「90歳ヒアリング」を世界展開する計画が実行されることになった。



3rd DESIS Japan Forum



GOOD DESIGN賞の受賞

SEMSaT3期生佐藤哲氏のVPP成果「90歳ヒアリング」とライフスタイルデザイン手法を融合させた町づくり手法が2013年 GOOD DESIGN 賞とBEST100への選出、さらに「グッドデザイン・未来づくりデザイン賞」を受賞した。審査委員からは「日本の良さとそれを感じる心を人々に思い出させる取り組み」「日本の宝になる可能性を感じる」などの高い評価コメントを得た。



GOOD DESIGN AWARD

